

## 第二次霧島市総合計画(前期基本計画)総括シート

政策体系	政策No.	4	政策名	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)	施策幹事課					
	施策No.	3	施策名	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進	スポーツ・文化振興課					
計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針(総合計画書から引用)					関係課					
優れた芸術文化に触れることができるよう、多様なジャンルの芸術文化を楽しむことのできる機会を提供するとともに、積極的な情報発信に努めます。 また、市民の主体的な芸術文化活動の促進と活動の裾野の拡大を図るため、団体の育成・支援を行うとともに、団体間の相互交流を推進します。さらに、子どもたちの芸術文化に対する興味・関心の高揚や豊かな心の醸成を図るため、芸術文化に親しむ機会を積極的に提供します。					市民活動推進課、社会教育課					
施策の方針に対する達成状況(2018～2022)			後期計画における課題							
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ イベント等の実施により、市民が良質な作品に触れ、芸術文化に親しむ機会を提供できた。</li> <li>■ 全国公募展である「きりしま美術大賞展」の実施や国内で最も歴史のある「霧島国際音楽祭」の支援により、芸術文化のまちとして広く情報発信することができた。</li> <li>■ 芸術文化団体の運営支援を行うことで、活動の活性化や運営の安定化が図られた。</li> <li>■ 市内小中学生に対し、児童生徒芸術鑑賞事業を実施し、計画的な芸術鑑賞機会を提供することができた。</li> <li>■ コロナ禍により、中止となった芸術文化事業も多数あったが、感染防止に努め、可能な範囲で芸術文化活動の推進を図ることができた。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 芸術文化団体の高齢化等により、会員減少が顕著に表れていることから、芸術文化に対する関心層の拡大や人材育成を行う。</li> <li>■ 芸術文化団体の自主的、自発的な活動の支援が必要である。</li> <li>■ 現代社会の実情やニーズに合わせた芸術文化振興策を検討する必要がある。</li> <li>■ 芸術文化団体の相互交流や意見交換を促し、芸術文化振興によるまちづくりを進める。</li> </ul>							
成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(100%以上)    △目標を未達成(100%未満)								
		単位	目標達成の方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率 結果
A	芸術文化に親しんでいる市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	53.6	53.8	54.0	54.2	54.3	91.0%
				実績値	-	-	-	-	49.6	△
B	芸術文化に触れ親しむ環境が整っていると感じる市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	30.6	30.8	31.0	31.2	31.4	105.0%
				実績値	-	-	-	-	32.9	◎
C	芸術文化事業の実践者及び鑑賞者の人数	人	更なる増加を目指します	目標値	106,000	109,000	112,000	115,000	118,000	44.0%
				実績値	94,565	88,267	42,399	49,692	51,467	△
D	芸術文化団体に所属している人数	人	更なる増加を目指します	目標値	3,200	3,300	3,400	3,500	3,600	58.0%
				実績値	3,557	3,523	2,540	2,346	2,081	△
E	霧島市民会館来館者数	人	更なる増加を目指します	目標値	66,500	67,800	69,100	70,500	71,900	48.0%
				実績値	61,300	53,690	21,898	32,876	34,251	△
基本事業	5年間の取組内容			5年間の取組成果				後期計画における課題		
1 芸術文化に触れ親しむ機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子どもたちの芸術文化に対する興味や関心を高めるため、小中学生を対象とした児童生徒芸術祭を開催した。</li> <li>■ 全国公募展である「きりしま美術大賞展」の実施や国内で最も歴史のある「霧島国際音楽祭」を支援した。</li> <li>■ 市民会館のあり方について、庁内検討委員会で協議を進めた。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市主催事業をはじめ、国、県の事業を活用し、小中学生が芸術文化に触れる機会を計画的に提供することができた。</li> <li>■ 美術大賞展や国際音楽祭の支援により、芸術文化のまちとして広く情報発信することができた。</li> <li>■ 今後の維持管理における基本的方向性がまとまった。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 芸術文化に関わる市民の関心層の拡大や人材育成を行う。</li> <li>■ 現代社会の実情やニーズに合わせた芸術文化振興策を検討する必要がある。</li> <li>■ 市民会館の改修を計画的に進める。</li> </ul>		
2 芸術文化活動を実践する市民及び団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 芸術文化に取り組む団体等の運営を支援するため、補助金等を交付した。</li> <li>■ 芸術文化活動に取り組む団体やグループ等の把握と団体相互の交流促進を図った。</li> <li>■ 市内小中学生に対し、児童生徒芸術鑑賞事業を実施した。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 補助金等の交付により、活動の活性化と運営の安定化が図られた。</li> <li>■ コロナ禍により団体相互の交流事業等は実施できなかった。</li> <li>■ 児童生徒に対し、計画的に芸術鑑賞機会を提供できた。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 芸術文化団体への支援を継続し、自立、自発的な活動を推進する。</li> <li>■ 芸術文化団体の相互交流や意見交換を促し、芸術文化振興によるまちづくりを進める。</li> </ul>		